

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第138号

平成30年10月17日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：045-263-4470

横浜に戻ってきたロボフェスタ①

今年度の「青少年のためのロボフェスタ2018」が、9月1日(土)、2日(日)に開催されました(当協議会の共催です)。平成17(2005)年に青少年センターを会場として始まった「ロボフェスタ」ですが、平成25年から「さがみロボット産業特区」の関係で県立相模原総合産業高校に会場が移されました。そして今年度は、5年間の特区期間を区切りとして、本来の横浜(青少年センター)に戻ってきました！

今回展示された 1950～60 年代に制作された相澤ロボット→



テーマは「学ぶ、触れる、楽しむ」

横浜(青少年センター)に会場を戻すにあたり、「学ぶ、触れる、楽しむ」を主題として、

- ①ドローンなど注目分野の体験ブース
- ②産(企業)・学(教育)・公(行政)の交流スペース
- ③物販コーナー

などの企画を盛り込み、規模は縮小しましたが、充実したイベントになりました。

参加者は2日間で553人でした。

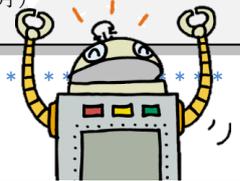
日付	天候	人数(子どもは高校生以下)
9月1日 (土)	曇りのち雨 (31.2/26.0℃)	201人 ・大人 114人 ・子ども 87人
9月2日 (日)	曇時々晴れ (24.1/21.2℃)	352人 ・大人 199人 ・子ども 153人

「ロボフェスタ実行委員長(青少年センター館長)あいさつ」から

今年は、相模原(さがみロボット産業特区)から、より発信力のある横浜開催へ会場を移しての開催となり『学ぶ』、『触れる』、『楽しむ』をコンセプトに『神奈川発！ロボフェスタ』を目指し運営委員会で検討を重ね進捗を図ってきました。出展団体25、コンテンツ数28の内容で、おかげ様で今年も盛況のうちに終了することができました。これもひとえにご出展団体、共催、後援団体様のご協力によるものであり、青少年のためのロボフェスタ運営委員長として深く感謝申し上げます。

さて、横浜開催となりイベントとしてはまだ成長過程にありますが、神奈川のロボット技術、及びその周辺技術を通して、青少年が科学技術への興味、関心を高め、次世代の科学技術を担う人材育成のきっかけとなるよう産学公一体となり執り行っていきたいと思っております。

今後も創発的・自律的に共創できる産学公連携の場を提供していけるよう、また広く県内外へ情報発信できるよう努めていきたいと思っております。関係各位の更なるご支援、ご協力よろしくお願ひ申し上げます。(平成30年10月)

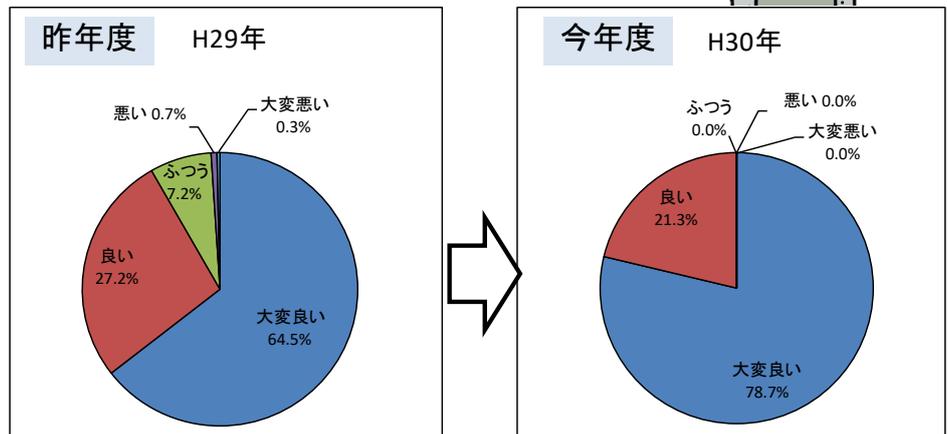


極めて高い満足度

(アンケート334名、回収率60.4%)

来場者の方々に例年お願いしているアンケートでは、今年度のロボフェスタ全般の感想について、右のように100%が「大変良い」「良い」と肯定的に回答していただきました。

出展していただいた会員さんを含めた、各団体さんの“おもてなし”と“テーマに沿った出展内容”が、参加者に喜んでいただけた成果だと思えます。



オープニングセレモニー

10時の開場を待つ来場者を、ロボットたちがダンスでお出迎えました。運営委員長(青少年センター館長)による開会宣言で、いよいよロボフェスタ開幕です！

MANOI企画によるオープニングのロボットダンスー



神奈川県内から25団体が出展

今年のロボフェスタには、神奈川県内に事業所を持つ企業、大学、高校等 25 団体に出展して頂きました。



<p>1 ロボットゆうえんち</p>  <p>ホールにて ATSUMO アイドロイド 5のロボットダンス、体験型ロボットバトルを行いました。</p>	<p>2 ドローンジョプラス</p>  <p>全国でドローンの魅力を伝えている女子集団によるドローンの体験操縦。ドローンを的に着陸させてポイントゲット！</p>	<p>3 湘南工科大学</p>  <p>宇宙エレベータの昇降実験、ヘビロボット、空中浮遊ロボット、センサを用いたゲームなどの展示・体験。</p>
<p>4 東海大学</p>  <p>東海大学で研究しているロボットの展示、実演及び体験。ぶつからないように上手にリモコンを操作。</p>	<p>5 川崎市産業振興財団</p>  <p>8月に川崎市内で開催した『かわさきロボット競技大会』に出場したロボット展示、PR 動画の放映をしました。</p>	<p>6 青山学院大学</p>  <p>山口研究室による3次元仮想空間ロボットシミュレータにおける知能移動ロボット研究を展示・体験。</p>
<p>7 青山学院大学</p>  <p>ロボット研究会メビウスが製作した遠隔操作ロボットや自律歩行ロボットの操作を体験しました。</p>	<p>8 ダブル技研株式会社</p>  <p>3本指ロボットハンド「D-Hand」、分身ロボット「OriHime」、ページめくりロボット「りーだぶる3」を体験。</p>	<p>9 有限会社テレビジネス</p>  <p>歩行の状態や姿勢から年齢が分かるシステムや、文字の練習を行うアプリの紹介をしました。</p>

事務局から

事務局、10月に厚木へ移転

事務局(青少年センター科学部)は、厚木市への移転が目前に迫ってきました。移転先改修工事や引っ越しの打ち合わせ、引っ越し荷物の梱包作業等を通常業務と並行して行っており、ドタバタしていますが、今号から何度かに分けて「青少年のためのロボフェスタ2018」の様子をお伝えします。

(事務局：村上、高相、山田、宮城)

